

我孫子市地域公共交通協議会

【調査事業】

平成22年2月8日設置

平成23年3月地域公共交通総合連携計画策定（予定）



概要

急速な高齢化の進行や自家用車への過度な依存による公共交通の衰退に対応するため、地区別現状調査やバス利用状況、駅前自転車駐車場利用者の分布状況、住民の求める交通サービスの形態や水準等の調査・分析を実施し、交通不便地域の課題を整理する。

○地域公共交通の現況

- ・ 我孫子市の交通形態は、鉄道が2路線6駅、民間路線バスが10路線35系統、市民バス（あびバス）が4路線7系統あります。
- ・ 公共交通機関としては、比較的充実していると考えられますが、これら交通網は、主に我孫子駅・天王台駅を中心とする常磐線沿線に集中しています。
- ・ 一方、湖北駅・新木駅・布佐駅などの成田線沿線では、地形的な問題もあり、交通不便地域も多く点在し、公共交通の整備が要望されています。

○地域公共交通の課題

- ・ 高齢者の外出支援を目的に平成18年度から運行した市民バスに対して、右の図に示すような課題が見えてきました。
- ・ 交通不便地域を解消するためには、市民バスの運行など、行政だけの支援では限界があります。
- ・ 交通手段が自家用車しかない地域は、通勤や生活が不便なため、若者離れが進み、更なる高齢化の加速が懸念されています。

○調査の主な内容

- ・ 地区別の現状調査
- ・ 交通利用者状況調査
- ・ 市民ニーズの把握調査
- ・ 交通不便地域の整理
- ・ 地域公共交通サービスの検討

○地域公共交通総合連携計画の策定

- ・ 市民バス（あびバス）・民間バスの路線網再編・新設
- ・ 公共交通の利用促進（モビリティーマネジメント）
- ・ 高齢者外出応援事業送迎バスの利用促進
- ・ 乗合タクシー導入の検討

